

■ 博物館の四季 ■



阿波踊りを始め、徳島では季節ごとに様々な伝統行事が行われてきました。そうした伝統行事を新たなイベントとして再現し、子どもから大人まで、皆様に楽しみ、参加いただいております。ここでは四季折々に繰り広げられる徳島城博物館のイベントの一部を紹介します。



春 蛸須賀400年の栄枯をハチに託して語り継ぐ、阿波の男女心意気。豪快な太鼓と華麗な囃子の競演。(花見太鼓)



夏 蛸と踊りと三味線が響く阿波の夏。その様々な姿と「よしの」の名調子、尺八と三味線の哀切に満ちた精霊おどり等々。



秋 代々の藩主がこよなく愛した茶の湯。菊薫る旧徳島城表御殿庭園をバックに、花茶会。(観菊茶会)



冬 武勇でならした蛸須賀家。藩主が家臣による新年の挨拶を受ける前に行われた射初式。古式に法り再現。(日置流射初め演武)

■ 体験学習事業 ■

日本の伝統文化や徳島の歴史・美術について理解を深めていただくため様々な体験学習を実施しています。甲冑や女房装束(十二単)などの時代衣装を身に著けたり、投扇興や盤双六など昔の遊びを楽しんだり…。博物館のおもしろさをみなさんも体感してみてください。

■ 博物館講座 ■

学芸員による「美術講座」「古文書講座」では、日頃の調査研究活動の成果を反映した講座を開設しています。他にも各界の専門講師を招いた歴史博物館ならではの興味深い講座を実施しております。

■ 特別講演会 ■

企画展、特別展の開催に合わせて、展示会のテーマをより深く理解していただくため、博物館では、第一館で活躍されている一流の講師を県内外から招いて各種講演会を開催しています。

■ ボランティア友の会 ■

ボランティア友の会のメンバーが博物館と表御殿庭園を案内します。

●事業等の問合せ先/徳島市立徳島城博物館 TEL (088) 656-2525



国指定名勝「旧徳島城表御殿庭園」

<開館時間>

午前9時30分～午後5時(入場時間は午後4時30分まで)

<休館日>

月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(日曜・祝日の場合は開館)
年末年始(12月28日～1月4日)

<常設展示観覧料>

区分	個人	団体(20人以上)
一般	300円	240円
高校生・大学生	200円	160円

※特別展の観覧料は別に定めます。
※中学生以下は無料です。
※博物館入館者は、旧徳島城表御殿庭園をご覧になれます。



<交通>

- 徳島自動車道 徳島ICから車で15分
- JR 徳島駅から徒歩約10分
- 徳島市営バス「徳島公園麓の門前」下車徒歩約5分
- 駐車場 TEL (088)655-9037
バスの駐車については、予約が必要です。

〒770-0851 徳島市徳島町城内1番地の8(徳島中央公園内)
TEL (088)656-2525 FAX (088)656-2466
<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku/index.shtml>

徳島市立徳島城博物館



元禄三年
五月五日
徳島市立徳島城博物館
表御殿庭園
松平阿波守

当館は徳島藩と蜂須賀家に関する歴史資料の収集保存、展示公開、調査研究、教育普及を通して、徳島市の成り立ちや文化に関する知識と理解を深め、新たな市民文化の創造と郷土への愛着をたかめることを目指しています。



【導入部】

正面に見える「革包丸龍文二枚銅童具足(複製)」は、初代藩主蜂須賀至鎮が、初陣である関ヶ原の戦いに着用したと伝えられる甲冑です。わずか18騎ながら東軍に参戦したこと功績により、蜂須賀家は阿波一國の領有を安堵されることになりました。まさに徳島藩の幕開けを象徴する甲冑といえます。



白織子地能楽模様打掛

【大名のくらしと文化】

蜂須賀家旧蔵の大名道具や、近世阿波の美術工芸品を紹介します。藩主所用の甲冑や、徳島藩が抱えた絵師や蒔絵師の作品、阿波の焼物や刀剣などの鑑賞を通して、江戸時代に徳島の地で育まれた生活文化や美意識にふれてみましょう。



【藩政の実態】

蜂須賀家政の阿波入国から薩藩藩邸までの286年間を、①徳島藩のなりたち ②中期の政治 ③徳島の幕末・維新、の3部構成で紹介。グラフィックによる解説や古文書などの資料をたどりながら、徳島の近世史が理解できるようになっています。



徳島県指定文化財 榎橋水車園屏風

狩野義信筆 西王母・瀧図



長宗我部元親書状 蜂須賀正勝宛

阿波水軍の活躍

大名のくらしと文化

藩政の実態 導入部

城下町のくらし

城の構え

ラウンジ



【城下町のくらし】

木戸をくぐると徳島城下の町並みが現れます。瓦葺の大きな店や檜皮葺きの長屋、高札場など、江戸時代の徳島城下の雰囲気を醸し出す展示室内。ここで紹介される歴史資料の数々が、近世徳島の城下町へ皆様をタイムスリップしてご案内します。



【城の構え】

展示室中央には徳島城御殿の精巧な復元模型が展示されています。折れ曲がり廊や能舞台、複雑に配置された各部屋、城内を行き交う人々の姿などを通して、明治8年(1875)に解体された蜂須賀家の居城・徳島城のイメージを思い描いてみてください。



徳島市指定文化財 家祖 蜂須賀正勝画像



【阿波水軍の活躍】

徳島藩の水軍について①乱世と阿波水軍 ②泰平と阿波水軍 ③阿波水軍の船の3部構成で紹介。全国で現存する最古の和船「徳島藩御召鯨船 千山丸」(国指定重要文化財)を中心に、阿波水軍が担ってきた役割や活躍のようすを紹介しています。



【国指定名勝 旧徳島城表門跡庭園】

城山を借景にした桃山様式の本庭園は、阿波の青石を臺基かつ織細に配置した枯山水と築山池泉で構成され、奥深い幽玄の世界を目撃しながら鑑賞できます。作庭者は関ヶ原の戦いで西軍に参加したのち、藩祖 蜂須賀家政に庇護を受けた武将茶人・上田宗箇といわれています。のちに宗箇は広島藩主淺野家に招かれ家老となりました。



重要文化財 千山丸



波忍広輝筆 竹島図